



# 哲 學 研 究

第 五 卷 第 五 册

第 十 五 號

大 正 九 年 五 月 一 日 發 行

大正五年四月六日第三種郵便物認可 大正九年四月二十七日印刷納本（毎月一回一日發行）

現實主觀……………	文學士	河瀬憲次
藝術家の悩み……………	文學士	成瀬無極
視野鬭爭過程の一般性質……………	文學士	黒田源次
フイヒテの歴史哲學（承前）……………	文學士	久保正夫
睡眠に就て……………	文學士	深田武
彙報新著紹介……………		

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部  
京 都 哲 學 會



## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
  - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
  - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年參圓四拾錢、前後二期ニ分ケテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

### 書記

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學博士	田邊元
文學士	務臺理作
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
文學士	澤村專太郎
寶嚴方治	

# 會 告

來る五月九日(日曜日)午後正一時より本會春季公開講演會を左の如く開催致候間御來聽被下度此段御案内申上候 敬具

一、會 場 京都帝國大學法學部第一教室

一、演 題

エジプトの藝術に就て

文學博士 松本文三郎君

印度佛塔の欄楯に於ける華文彫刻に就て

文學士 澤村專太郎君

大正九年五月一日

京都哲學會

け出来ぬと思ふ。

眞面目なる翻譯の創作にもまして困難なるは、われ等が常に痛切に感じてゐるところである。殊にカントやフイヒテ等の如く、非常に深奥なる思想をば精細なる論理と迂餘曲折せる表現とに盛れるものに對しては、この困難は一層大なるものがあるであらう。原著者の思想に對する深き理解と厚き同情と語學に對する充分の自信を有する人にして始めて此の困難を克服することが出来ると思ふ。而してこの點に於て本書は全く譯者に其の人を得たと言はなければならぬ。勿論本譯を精細に原文に對照すれば、文法上の解釋の相異よりして異見を挿み得る箇所があるかも知れぬ。又は單なる不注意や活字の誤りと思はるもの(例へば、vorstellen が、<sup>△△△</sup>思惟する(二四頁)、reelle Wirklichkeit が實在的因果性(七七頁)、Eut が事行(八〇頁)、Objekt des Bewusstseins が思惟の客觀(五一四頁)となつてゐる如き)の爲めに意味が曖昧となり、又言ひまわし方の前後せるために意味の不徹底を來たした様な場合があるかも知れぬ。然し此の如きは少數の箇所止まり、全體より言へば、非常に周到にして眞面目なる用意と原著に對する深き洞察と、その論理と氣分とを表はすに適當なる、精細にして生氣あり含蓄ける表現とにりて、或る點まで充分に翻譯としての本

書の目的が實現せられてゐると思ふ。巻頭に有益なる序説と、附録に親切にして興味深きフイヒテの年譜がそへてある。前きには、カントの「序説」及び「第二批判」、近くは、デカルトの「方法論、省察、原理」が邦語に移され、今又この大なるクラシックの一つが、邦語となつてわれ等に與へらるるに至つたことを思ひ、われ等は、わが思想界の爲めに大なる觀びに堪えないと共に、この價値ある意義ある、而かも非常に困難なる翻譯をば全ふせられた譯者の努力に對して深き感謝を表したいと思ふ。東京、大村書店發行、定價金四圓、(世良壽男)。

## 寄贈書籍雜誌

フイヒテ知識學序説及基礎 文學士 近藤哲雄 譯

大村書店

哲學雜誌、丁曾倫理講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、六條學報、學校教育、内外教育評論、教育學術界、教育界、教育研究、教育時論、東京教育、静岡教育、近江教育、岐阜教育、三重教育、愛知教育、都市教育、信濃教育、佐賀教育、藝備教育、長崎縣教育、愛媛教育、京都美術新聞、文化運動、日華公論。

## 前 號 目 次

彙報……………	優良兒教育の沿革…………… 文學士 伊藤 猷典	フイヒテの歴史哲學…………… 文學士 久保 正夫
美の本資(承前)……………	醫學博士 今村 新吉	喜劇と妄想(承前)……………

會 告 價 定 廣 告 料 註 文 規 定

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 文學部内 京都哲學會  
 振替口座大阪參〇六六參番

冊	冊數	冊金	拾錢	郵稅
一	冊	金四拾錢	金壹錢	受
六	冊(前金)	金貳圓四拾錢	不申	受
十二	冊(前金)	金四圓八拾錢	不申	受

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

◎會員にあらざる譯讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候  
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候  
 ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候  
 ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候  
 ◎見本御入用の場合は金參拾錢御送り下され度候  
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正九年四月二十七日印刷納本  
 大正九年五月一日發行  
 第五十號 第五卷  
 第五册



編輯者 京都帝國大學文學部内  
 右代表者 寶嚴方治  
 發行者 大葉久吉  
 印刷者 青柳十一郎  
 印刷所 秀英舎第一工場

發行所 東京日本橋區本石町三丁目  
 (振替口座東京二八〇番) 寶文館

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目  
 大阪市東區淡路町四丁目 寶文館

賣捌所 (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
 上田屋 (大阪) 盛文館 (京都)  
 寶文館 (神戸) 寶文館

東京高等師範學校教授  
吉田靜致博士著

倫理學演義

該博の知識と最新にして卓越せる見識とを以て、倫理學の巨細を詳叙せられたる本書は、既刊の倫理書中一頭地を抜き、紙數壹千參百餘頁悉く金玉の文字に滿つ。斯學の研究に志す士及び文檢受驗者諸君の是非一讀を要する好著たり。

布裝 全一冊

定價金六圓五拾錢

送料金貳拾四錢

倫理學要義

本書は斯道新進の大家たる吉田先生が倫理學の要義を懇切に記述せられたるものにして、發賣以來好評嘖々、既に十數版を屢ぬ。弊館は此の絶好の名著を紳士・淑女の座右にすゝむるを光榮とす。幸に一本を求められんことを望む。

布裝 全一冊

定價金參圓五拾錢

送料金拾八錢

東京寶文館大版